

笑顔と感謝 ともに働き、ともに笑い、ともに生きる

活動の経緯

養護学校（現在の特別支援学校）高等部を卒業したあとの行き場がない障がいを持つ方々のために、就労の場を提供しようとスタートしたのが27年前です。スタート時は花苗や野菜苗を播種から行い、栽培し販売を行ってきました。平成24年富士山の伏流水を使用した水耕栽培を開始。高工賃の実現に向けて本格的に農業に参入。農業にはゆめがあるということで「ゆめ農」と名付けました。

活動の概要

地域のスーパーと協働で農福連携を推進。食育の場を提供し地域に根ざした事業所を運営



御殿場リーフレタスの収穫



地元幼稚園との食育活動



静岡県の新商品開発事業で誕生したレタスふりかけ

活動の成果、実績等

- ①地域の障がいを持つ方々が地域の農業を支える
富士山の伏流水を使用した水耕栽培を実践。しずおか農林水産物認証を取得した無農薬野菜を地元スーパーへ毎日安定出荷。品種は御殿場リーフレタス、サンチュ、春菊、小松菜、ルッコラ、バジル、水かけ菜。地元学校給食では地産地消週間にて年2回にて提供。水耕年間売上は開始時より1,000万円以上増え1,700万円
- ②障がい者と企業の連携による他に類をみない事業を展開
御殿場市・小山町約38,000世帯に県、市、町の広報誌をはじめ、一般企業からいただいた広告を1枚1枚丁寧に丁合し各家庭に届ける事業は、全て地域の障がいを持つ方々が関わっています。地域へのポスティングでは、障がい者啓発の機会となり、今では毎回「ありがとう」とお声かけをいただけるようになりました。
- ③高工賃の実現に向けて 積極的にマルシェ等に参加
オールしずおかベストコミュニティとの連携により、新商品開発（富士山麓レタスふりかけ）、6次化商品開発（濃厚茶みつ）を行い、販売。農福マルシェやその他販売会にも積極的に参加。また御殿場市役所農政課主催の市役所マルシェにも若手農家の方々と一緒に必ず参加。事業総売上額は5年で1,000万円以上増加